No.51の付属書類

金融史資料	
分類記号	IAx
整理番号	21(51)～2/2
資料名	秘書室譲受資料 (松尾総裁関係資料等) 21(51)の付属資料
保管容器	

研30009

通貨、金融史料	
分類	IBa ヒツ
整理番号	い 23/ 51
受入番号	い 2969
名称	秘書室譲受史料 (松尾総裁関係史料等)
備考	付属書類 2/2

70517

Kodak Gray Scale
© Kodak, 2007 TM: Kodak
Kodak Color Control Patches
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black
© Kodak, 2007 TM: Kodak

70517
秘書室譲受資料
旧番号
IAx21(51)1/2

此綴込中
此目録ノ
書類皆
保存済、
引継
四四年十二月十四日

六

下請組合書類綴

目録

一、仲買手数料ノ件ニ付日本銀行ト協議ノ件　二月廿二日
二、再下請先面　十枚通
三、第二回募集ニ関シ協議事項　三月十日
四、第二回再下請先面　五枚通　四月九日
五、應募申込方日本銀行ヘ一任ノ件　四月十三日
六、四月十三日決議ノ件
七、第三回償還ノ件ニ関シ小山氏ヘ通知　五月五日
八、買持公債引受希望者無回答　十五枚通
九、公債売却面　四通
十、組合存続ノ件ニ付小山氏来東　九月十四日
十一、旧総武鉄道社債償還告示案　十月六日

十二、旧総武鉄道第二社債償還告示案　四年？　四月一日

十三、臨時事件公債抽籤償還告示案　十月十八日

十四、所有公債所管換住友銀行ヲ御出　十一月一日

修正書ノ通リ

此度政府ニ於テ五分利付内國公債ヲ四分以下ノ低利公債ニ借換セル方針ヲ定メ着手ノ第一トシテ此際新ニ四分利付公債額面壹億円ノ發行ヲ為シ其收入ヲ以テ五分利付公債ノ償還ニ充當スル計畫ヲ立テラレ下名ノ銀行者ニ下請組合ヲ作ルコトヲ慫慂セラレタルニ付我等一同協議ノ上政府ノ計畫ヲ賛助シ公債低利借換ノ事業ヲ首尾好ク成切セシムル目的ヲ以テ下請組合ヲ作リ茲ニ規約ヲ設ケ以テ國家ノ事ニ盡サンコトヲ誓フ

第一条　下請額ハ主トシテ各銀行ノ不動預金ヲ基礎トシテ各自ニ

分担スル事

第二条 組合銀行ハ各自ノ下請ニ依テ分担引受ヲ為シタル公債ヲ發行價格以下ニテ他ニ賣渡サヾル事

第三条 組合銀行ハ各自ノ下請高ヲ組合以外ノ資本者ニ再下請ヲ為サシムルヿヲ得 此場合ニ於テハ其組合銀行ハ再下請者ニ前条ノ~~旨意~~取極ヲ厳守セシムヘキ責任アルモノトス

第四条 組合銀行中分担引受ヲ為シタル公債ヲ發行價格以下ニテ賣却スヘキ必要ヲ生シタル時ハ其事情ヲ組合ニ申出其承諾ヲ得テ處分スルモノトス

第五条 前条ノ場合ニ當リ組合ニ於テ其公債ノ處分ヲ引受ルヿニ決定シタル時ハ賣却者ハ公債發行價格ヨリ下請料ヲ引去リタル價格ニテ公債ノ處分方ヲ組合ニ一任スルモノトス

第六条 組合銀行以外ニ於テ~~金四分利付~~新公債ヲ發行價格以下ニテ市場ニ賣出ス者アルトキハ組合ハ之ヲ買取リ又ハ其筋ニ交渉シテ~~新公債~~市場(價)ノ維持ニ力ムル事

第七条 第二回以下ノ~~払~~借換ヲ實行スヘキ時機及金額ニ付テハ組合ニ於テ協議~~決定~~ノ末政府ニ交渉スルヿヲ怠ラサル事

第八条　組合銀行ハ其引受タル公債ノ賣却高ヲ毎週一回相
互ニ報告スル事

除ク
詮ナキ事項ト加フ

~~第九条　組合銀行ハ大蔵省及日本銀行ヨリ公債ニ関スル調
査書及計表ノ送付ヲ受クル事~~

第十条　本規約ハ二年間有効トシ其期ニ至リ経済社界ノ状況ニ
シテ公債切換整理ノ成功ヲ期スルヿ能ハザル見込立タル
時ハ政府ト協議シテ此規約ヲ改定スルカ又ハ組合ヲ解
散スル事

修正案ノ通リ

注意

組合協議會ヲ常設シ會長及書記ヲ置クヿ

新公債ノ建相場ハ元金丈ケヲ目安トシ利札ハ日割勘定
ヲ以テ取引スル習慣ヲ作ルヿ

下請料ノ収入方ハ各自ノ下請シタル金額ニ割當ニ限定セ
ラル、モノトス　例之ハ参百万円ノ下請ヲ為シタル銀行ハ参万
円ヲ限リ収得スルモノトス又公衆ノ應募高ハ組合銀行ノ下
請高ト其他ノ引受高トノ合計額ニ對シ按分セシ其比例ニ依

ヲ右自己公債引受高ヲ減セラルヽモノトス

疑問

應募者申込ニ對スル割當方ヲ發行者ノ適宜割當ヽ任スル仕方ニ改正スルヤ否若シ按分比例法ニ依ルトスレハ

本公債ハ全額引受者ヲ定メテ發行ス

引受人以外ノ應募高カ募集額ニ超過スル時ハ按分割當ヲ爲ス但公債ヲ以テ拂込金ニ代用セントスル者ハ優先ニ割當ヲ受クヘシ

一第一条

下請額ハ其都度發行額ノ多少ニ依リ各銀行應分ニ~~負擔~~引受スル事

一第三条

「前条ノ旨意」トアルヲ「前条ノ取極メ」ト改ムル事

一第七条

「協議決定」トアルヲ「協議ノ末」ニ改ムル事

一第八条

「相互ニ」トアルヲ「會長ニ」ト改ムル事

一第十条

明治　年　月　日

下請組合銀行一致ノ希望

日本銀行

十二条

本規約實施後二ヶ年（主務省ノ）経済社會ノ状況ニ依リ必要ト認ムル時ハ組合銀行ハ其筋ト協議シ此規約ヲ改定シ又ハ組合ヲ解散スル事

十一条

一　組合銀行代表者ヲ以テ協議會ヲ組織シ本組合ニ関スル諸般ノ協議ヲ為スモノトス

本組合ニ~~會長~~（幹事）二名ヲ置キ一切ノ事務ヲ統轄セシムル事（但本組合ヲ代表）

~~本事務所ハ日本銀行内ニ設クル事~~

十条

一　組合銀行中萬一本規約ニ違反シタル行為アリタル時ハ~~會長~~（幹事）ハ協議會ヲ招集シ審査ノ上會員三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ除名ノ處分ヲ為ス事

全

(1)

今後内国債ノ借替ハ切替ノ為メ発行セラルヘキ公債ニ関シテハ各等

ヲ採用相成候ハヽ便宜斟酌ノ上総本位

二付弊見内申仕候

伸[illegible]ヒ

一　発行ノ条件ハ債券ノ価格ヲ定メテ其以上ノ価格ニテ応募申込ヲ為ス

募集ニ当リ景気ヲ添ユルニ為メ発行価格ハ最低価格ヲ

コトヲ許サルヘキ事

本ハ募集ニ当リ応募申込ノ数アルトキハ[illegible]

一　応募申込ニ対シテハ割当ヲ為シ発行実際ノ割当ハ仕ルヘキ事

割当ノ方法ヲ一件毎ニ定ムルコト

明治　年　月　日

応募入割当ノ手数ヲ省クタメ

日本銀行

一、若シ前項ノ方法ヲ採用難相成[illegible]按分比例ニテ割当ヲ定ムル場合ニハ左ノ意味ノ規定ヲ[illegible]以表セラレ度シ

本公債ハ全額引受先ヲ定メテ発行ス

(五) 引受地以外ノ公募応募高ガ募集額ニ超過スルトキハ[illegible]債

非引受申込ヨリ多キトキハ其ヨリ順次按分割当ヲ為ス但シ[illegible]価格

非引受申込ニ付テハ其価格ノ最モ高キモノヨリ順次優先ニ割

[illegible] 五分利公債ヲ以テ払込金ニ付用[illegible]スルモノハ第一

優先ニ割当ヲ為シ[illegible]価格以上ニテ申込募申込ヲ為シタルモノハ

第二優先ニ割当ヲ為スベシ

明治　年　月　日

日本銀行

一、公債建相場ハ元金ヲ目安トシ利札ハ日割勘定ヲ以テ附スル（政府ヨリ取引所ニ命令シテ）

コトニ政府ヨリ取引所ヘ命令セシメ度事

[illegible]

[illegible]

一、大蔵省ヨリ各種公債ニ関スル調査書及計表ヲ時々組合各銀行ヘ交付セラレ度事

明治　年　月　日

日本銀行

今般諸公債證書借換ノ廟算御確定相成候ニ付テハ私共各銀行ニ於テ應募盡力可仕旨御示諭ノ趣謹承仕候右者國家ノ利率革新ノ宏謨ト奉存候ニ付各自其力ニ應シテ盡瘁可仕候就テ右取扱ニ關シ各銀行ノ間ニ別紙ノ規約協定仕候間御聞置相成度候且此借換公債ハ引受保證仕候ニ付テハ左記ノ要項豫メ御承認被下度候依テ規約寫相添此段上申仕候也

要項

一 現今財政方針ヲ鞏固ニ維持セラルル事

公債政策ニ関スル既定ノ

明治　年　月　日

日本銀行

一日、諸共之書

二 償還期限ニ達シ居ル諸公債ハ從テ低利ニ借換ル政府ノ方針ヲ相當ノ方式ニテ世間ニ宣言セラルル事

三 郵便貯金ノ利率ハ速ニ引下ケラルル事

四 向後公債償還ノ手續及時期ニ付テハ此組合ノ意見ヲ徴セラルル事

五 公債借換ノ實行ハ向後先ツ此組合ニ協議セラルル事

以上

明治四十三年二月二日

下諸銀行組合幹事
第一銀行頭取 男爵 澁沢栄一
頭取 誰郎
横濱正金銀行頭取 男爵 高橋是清

大藏大臣侯爵桂太郎殿

拝啓陳ハ
今回政府ニ於テ五分利付内国債ヲ低利ニ切換ヘルノ方針ヲ定メラレ候ニ付テハ其整理
計画ヲ翼賛セシカ為メ別紙ノ組合ノ組織致シ候處右ニ付諸種公債ニ関
スル調査書及計表ヲ時々各組合銀行ヘ御交付被成下候ハハ至極好都合ト
存候間右御交付方御願申上候敬具

日本銀行総裁 殿

明治　年　月　日

別紙契約書ニ綴上各銀行引受
金額左ノ如ク改定ス

一 三千万円	日本興業銀行
一 七百万円	横浜正金銀行
一 七百万円	十五銀行
一 六百万円	三井銀行
一 六百万円	三菱銀行部
一 六百万円	第一銀行
一 五百万円	安田銀行
一 五百万円	第三銀行
一 四百万円	住友銀行

拝啓
一借換公債…
セラレ今…
ル、箸ニ…
一調査整…
交友…
一下請組…
ニ対シ組…
スルコト必要…
者ニ於テ…
分方ヲ組…
先様…
近ニ申…

[illegible]

一 三百万円　第百銀行
一 三百万円　北濱銀行
一 三百万円　浪速銀行
一 三百万円　三十四銀行
一 三百万円　山口銀行
一 三百万円　鴻池銀行

合計七千四百万円

此書類ハ各銀行名前ノ下ニ行印ヲ押スヘキ
[illegible]二十日経ノ餘地アル様[illegible]了

拝啓　過日ハ御来臨被下
候処何之風情も無之失敬致候
下清御厚情拝謝仕候ハ清
書御申越之[illegible]篆
地之候[illegible]一回
調候ニ付[illegible]
銘ハ御申越[illegible]
清書[illegible]
御[illegible]見文
謂ニ種々[illegible]
之[illegible]不清[illegible]
拝[illegible]書上一回し
御[illegible]
候ハヽ[illegible]
試筆し[illegible]
而[illegible]
[illegible]ハ此[illegible]

[illegible]
之由ニ而御請申上候
相待居候一同ニ
然ル所坂地ニ而者
候ニ付全く御取計
被仰聞候ニ付
右之
御取計ハ此方ニ而宜敷
[illegible]
[illegible]
先ハ一[illegible]以上
[illegible]
得貴意度如此御座候

二月二日
渡邊平一

高橋光清様
梧下

拝啓
一借換公債……
セラレ今……
ル、等ニ……
一組合銀行内……
支店所時……
一下請個……
ニ対シ個……
スル丁必要……
者ニ於テ……
分方ヲ組……
先ル様……
近ニ申准……

一向経公債償還……

一 三万円 第百銀行
一 三万円 小倉銀行
一 三万円 浪速銀行
一 三万円 三十四銀行
一 三万円 山口銀行
一 三万円 鴻池銀行
金計……
此等……

一 向後公債償還ノ手続及時期ニ付テハ此組合代表者ノ意見ヲ徴セラル事

一 公債借換ノ實行ハ向後先ツ此組合ニ相議セラルル事

拝啓

一借換公債ヲ…セラレ今日…

ル、若シ…

一組合銀行内全…

支店所所…

一下請組合…

ニ対シ組合…

スル口必要…

者ニ於テ議…

各方ヲ親…

之様ニ約束…

近ニ申進候…

一 政府ノ財政方針ヲ鞏固ニ維持セラルル事

一 郵便貯金ノ利率ハ速ニ引下ケ[illegible]ルル事

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 三百
一 三百
一 三百
一 三百
一 三百
合計

[illegible]

一　現今ノ財政方針ヲ鞏固ニ
維持セラルル事

一　郵便貯金ノ利率ハ速ニ
引下ケラルル事

一　内債ハ公債償還ノ手続
及時期ハ此際総合ニ組織
セラレテ償還ヲ決定スル事

一　借替公債ノ実施ハ内債繰テ
此際総合ニ期ヲ変ケセラル
保続セラルル事

一　償還期限ニ達シタル公債ハ繰
テ利ニ借替ルノ政府ノ方針ヲ
相当ノ法式ニテ世間ニ宣
言セラルル事

拝啓

一借換公債募集ノ有之ニ付キ其筋ヨリ幹事ノ意見ヲ徴セラレ今月総テ都合好ク相纏マリ右省令ハ昨日発布セラル、筈ニ御坐候

一組合銀行内今度ノ募集事務取扱方ニ希望ノ向キハ各銀行本店ニ限リ日本銀行本店又ハ大阪支店臨時派出所トシテ右事務ヲ取扱ハシメラル、日本銀行内意ニ候間至急各自直接ニ同行ヘ御申出度候

一下請組合銀行ニ於テ各自再下請ヲ為サシムル場合ニハ再下請者ニ対シ組合規約第二条ノ取極ヲ厳守セシムル旨意ヲ以テ約束スル了必要ナル儀ハ既ニ御承知置候通ニ御坐候処万一再下請者ニ於テ該取極ヨリ実行スル能ハザル場合生シタル時ニハ其処分方ヲ親銀行（最初下請ノ譲渡ヲ為シタル銀行）ニ一任セシムル様御約束相成候ハバ双方ノ便利ト被存候ニ付御参考迄ニ申進候

[illegible]

拜啓
當組合ニ於テ借換公債ノ引受保証ヲ為ス件
並ニ右ニ付キ[illegible]
二日付ヲ以テ大蔵大臣[illegible]
對シ別紙ノ通リ[illegible]

明治四十三年[illegible]

一下請及再下請ノ契約ハ本事業[illegible]
今回ノ万事[illegible]場合ハ[illegible]再下請契約[illegible]
得ザルベク候得共遅クモ[illegible]
ニ再下請[illegible]
一下請ニ関スル[illegible]銀行ト[illegible]契約ハ本日ノ日付ヲ以テ[illegible]
右當国[illegible]

明治四十三年二月[illegible]

下請銀行組合幹事

先者拝復迄如此御座候

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

乍序宜敷御伝声被下度候

一月廿四日　[illegible]

河田男爵殿

宍[illegible]男爵殿

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

九月[illegible]日

一[illegible] 拝

[illegible]殿

[illegible]殿

[illegible]

拜啓

當組合ニ於テ借換公債ノ引受保証ヲ為スノ件并ニ右ニ付キ豫ジメ承認ヲ與ヘラレ該要項本月二日付ヲ以テ大蔵大臣ヘ上申致シ置キ候処今日之ニ對シ別紙ノ通リ令達有之候ニ付此段及御報告候也

敬具

明治四十三年二月五日

下請銀行組合幹事

（別紙）

官房秘第三二号

下請銀行組合幹事
第一銀行頭取
男爵渋澤栄一
横濱正金銀行頭取
男爵高橋是清

四分利公債募集ニ関シ本月二日付ヲ以テ申
出ノ件聞置

明治四十三年二月五日

大蔵大臣 侯爵桂太郎 印

拝啓
別紙写ノ通リ昨日ノ日付ヲ以テ日本銀行ト組合トノ
間ニ下請ノ契約調印致候此段及御通知候敬具

明治四十三年二月五日

下請銀行組合幹事

契約書

今般政府ニ於テ五分利付内國債借換ノ為メ四分利公債一億圓ヲ募集セラルルニ付日本銀行ハ政府ノ命任ニ依リ之カ下請ニ関シ

横濱正金銀行

株式會社日本興業銀行

株式會社第一銀行

株式會社第三銀行

株式會社十五銀行

株式會社第百銀行

株式會社三井銀行

三菱合資會社銀行部

合名會社安田銀行

株式會社 浪速銀行
株式會社 三十四銀行
株式會社 北濱銀行
住友銀行
合名會社 鴻池銀行
山口銀行

ヲ以テ組織シタル下請銀行組合ト左ノ事項ヲ契約ス

第一條　組合銀行ハ募集豫定額一億圓ノ内七千五百萬圓ノ下請ヲ為ス事

第二條　銀行組合ハ公衆ノ應募額面總高カ一億圓ニ滿タサルトキハ前條下請額ノ割合ニ應シ其不足額ヲ引受クルノ責ニ任スル事

第三條　前條ノ場合ニ於テ銀行組合ノ應募申込ハ第一條ノ下請額以内ニ於テ日本銀行總裁ニ一任スル事

第四條　銀行組合カ引受クヘキ國債ノ應募價格ハ最低發行價格トスル事

第五條　銀行組合ハ本契約ニ違反シタルカ為政府ニ損失ヲ及ホシタルトキハ組合者連帯シテ之カ辨償ノ責ニ任スル事

第六條　日本銀行ハ銀行組合カ本公債下請ノ責ニ任シタル報酬トシテ其下請額ノ百分ノ一ニ相當スル下請料ヲ其拂込完了ノトキニ於テ銀行組合ニ交付スル事

右契約ヲ締結シタル證トシテ本書二通ヲ作リ雙方署名調印ノ上一通ハ日本銀行ニ一通ハ銀行組合ニ保存スルモノ也

明治四十三年二月四日

日本銀行總裁男爵松尾臣善
日本銀行文書局長　島郁太郎

下請銀行組合幹事
株式會社第一銀行頭取男爵澁澤榮一
横濱正金銀行頭取男爵高橋是清

拝啓
組合銀行ノ内今度ノ募集事務取扱方ニ希望ノ向キハ各自
直接ニ日本銀行ヘ御申出相成度旨昨日申進置候處此際至
急ヲ要シ候儀ニ付日本銀行ヨリ代理契約草案ノ交付ヲ受ケ
二通御送附致シ候間御希望ノ向キハ直ニ御調印ノ上日本銀行ヘ
御差出相成度候　敬具

明治四十三年二月　日

下請銀行組合
幹事

拝啓

組合銀行ノ内今度ノ募集事務取扱方御希望ノ向キハ各自直接ニ日本銀行ヘ申出相成度旨昨日申進置キ候処此際至急ヲ要シ候儀ニ付日本銀行ヨリ代理契約草案ノ交付ヲ受ケ二通御送附致シ候間御希望ノ向キハ直チニ御調印ノ上日本銀行大阪支店ヲ経テ日本銀行本店ヘ御差出シ同時ニ同本店ヘ電報ヲ以テ其趣御通知相成度候　敬具

明治四十三年二月五日

大阪銀行組合幹事

拝啓

再下請契約ハ遅クトモ本月十九日迄ニ締結相成候様致度候旨
昨日申進置候処再下請ハ必ズシモ単ニ今回ダケニ止マラズ
将来ニ亘ルノ関係ヲ生ズルコトアルベキ儀ニ付組合ト銀行間
ニ気脈ヲ通シ歩調ヲ整フル様致度候間各銀行ニ於テ
他ヘ再下請ヲ為サシメラレタル場合ニハ再下請契約締結ノ
上再下請者ノ名前并ニ銘々ノ再下請額ヲ幹事ヘ御報
告相成度候又再下請者ハ其力ヲ測リテ相応ノ額ニ限リ
再下請ヲ為サシムルコト肝要ト被存候間同一人又ハ会社ニシテ
一個以上ノ組合銀行ヨリ再下請ヲ受クルコトナカラシムル様御
注意相成度此段申進候敬具

明治四十三年二月　日

下請銀行組合幹事

抄録

下書

組合幹事依嘱ニ関スル大蔵大臣宛届書並ニ日本銀行ト締約ヲ為スノ権限委任状ニ各行
代表者ノ御調印ヲ要シ候ニ付別紙調製ノ上各行ヘ差上候間先ヲ貴地各
銀行ノ御調印ヲ済マセラレ候上ハ御送附被下度尚右返日[illegible]差上置候契約ノ各相
談決定書[illegible]御調印[illegible]被下度

一セラ成丈速カニ御取纏ヒ御送附被下度候 敬具

四十三年二月七日

下請銀行組合幹事

三十四銀行頭取 小山健三殿

追テ大蔵大臣宛届書ニハ全部ノ調印済ノ上宛名記入可致候
一 東京ニテハ記入スヘキ数カト存候得共ニ付其向ノ契約相談ク

下請銀行組合契約書

帝国政府内国債償還ノ為メ中外ニ於テ公債ヲ倫敦ニ借換ヘラルルニ付キ其下請ニ関シ下請銀行組合ヲ作リ契約第九條ニ依リ横浜正金銀行頭取男爵高橋是清株式会社第一銀行頭取男爵渋沢栄一ヲ本組合ノ代表者ト致シ候間此段御届申上候也

（右記銀行ハ）

明治四十二年二月二日

大蔵大臣侯爵桂太郎殿

THE YOKOHAMA SPECIE BANK, L'D.,
YOKOHAMA.

猶縷々明日ハ重て
之様御座候間
其旨御伺申上
可然御都合之節
何卒御調度之事也
先日御出席之上申上
匆々頓首
三日　山本達雄
深井英五様
梧下

THE YOKOHAMA SPECIE BANK, L'D.,
YOKOHAMA.

明治四十三年二月三日

横濱正金銀行
頭取代理山川勇木（印）

下總銀行御中

頭取殿

拝啓　貴行ヨリ預ケ入レノ債券
條約改正ノ件等ニ關シ其要項御申越ニ
二月六日大阪ヘ上申中ノ処右ニ對シ此條
全部御承知相成候得共何卒此旨御了承
相成度

右御返事申上候也

明治四十三年二月七日

横浜正金銀行

下續振込依頼書

頭取代理 山川勇木

藤田[illegible]七郎

拙者[illegible]振込ニ[illegible]金[illegible]下續ノ契

約調印[illegible]致[illegible]

承認[illegible]

右之段申上候也

明治四十三年二月七日

横浜正金銀行
取締役代理 山川勇木 (印)

四郷利正使 下村 振込 総会

謹言 此中

扨テ 今般ノ 営業方針 取扱之 間ニ 可申
頭取 代理 契約 其筋 二三 回付
其事 正主 拘リ 少銭ノ 通リ 調査ノ上
此際 頭取 へ 直接 交渉 可 被成 候
右 此段 申上候也

明治四十三年二月廿七日

横浜正金銀行
頭取代理　山川勇木

下請紹介

鈴木以平殿

御照再下請之為替ならん賠償ノ件ニ関
し去ル二十四日付書面ヲ以テ此事宗之採
委細御承知右再下請契約書ハ初ノ切返
ニ付キ未示之報告之趣ハ一切致し
為在候此段得貴意此如以緒申上候也

住友銀行便箋

住友銀行
支配人
[illegible]

下請銀行組合幹事
高橋是清殿

拝啓別冊下請銀行組合規約書今附属書并各銀行分担引受金額決定書弐冊及御送付候間御査收被成下度此段得貴意候也

明治四十三年二月八日

二月九日領収済西山総務へ送付

9/2/10. 廃案

拝啓

今般福嶋商店（浪三）商会、小池国三（国三商会）、紅葉屋（神田鐳蔵）ヨリ四分利公債ノ事（今回発行セラルベキ）

ニ関スル再下請致度旨申出候ニ付其趣意ヲ聞取リ候処 三商会ハ国債ノ売

買取引ヲ円滑ナラシムルニ努メ尽力シ来リタルモノニテ 今回政府ガ定メラレタル借換計画

[illegible] ノ状況 ニテハ国債ノ需要 [illegible] 市場 [illegible]

直ニ売手ヲ見出スコト能ハザル場合多キガ故 三商会ハ平生売手アルトキニ

買取リ置キテ買手ノ現ハルルトキニ売渡シ以テ需給ノ調和ヲ謀リ来リ 即チ政

府ノ定メラレタル借換ノ計画ハ三商会ノ熱心賛成スル所ニテ其ノ実行ノ為メニ尽力セント

欲ス 就テハ下請組合ニ加入 [illegible] セシメラレンコトハ最モ希望スル所ナル旨 [illegible]

ナレトモ [illegible] 一手方四本 再下請ナランクシ

明治四十三年二月八日

[illegible]且引受ケタル[illegible]証券ノ記番号

ヲ記録ニ留メ置キ下請組合銀行幹事ノ承諾ヲ経ルニアラザレバ之ヲ売出サザルコトヲ[illegible]

約束スベシ 然ニ前条ニ於テ一千万円ヲ引受ケタル次第ナリ今之ヲ引受ケ置キ適当ノ時機ニ

幹事ノ承認ヲ経テ適当ノ価格ヲ以テ売出スコトトセバ[illegible]今度ノ公債ヲ投資者ノ手ニ帰セシムルノ端緒トシテ

一層ノ[illegible]効アルベキヲ信ズ[illegible]

依テ今回ハ先ヅ試験的ニ前条ノ下請ヲ加フルコト

ニ致スト申スコトニ有之 右ハ大体ニ於テ[illegible]ノ儀ニテ[illegible]前条ハ

仲間ノ内ニテ[illegible]

[illegible]

尚試験的ニ下記各項ノ通リ再下請ヲナサシムルモ差支ナカルベクト存候

一、再下請金額ハ五百万円トスルコト

明治四十三年二月八日

1.5/5.0 4.5 5.0 33

一、再下請料ハ再下請金額ノ千分ノ五ヲ給スルコト

一、手附金制ハ幹事ノ引受ケタル公債ヲ東京ニテ売出ス承認ヲ経ルニアラザレバ売出サザルコトヲ約束セシムルコト

一、三商会連帯責任ヲ負ハセシムルコト

右ノ再下請ヲ為サシムル場合ニハ幹事ニ於テ三商会ト相談ヲ為シ再下請額ハ組合銀行ノ下請額中ヨリ百分ノ五ヅツ割リ出スコトシ

差シ組合銀行ノ其下請額ノ内ヨリ再下請セシムルヲ不便トセラルル向キアル場合ニハ幹事ニ於テ他ノ組合銀行ト協定スル様致候ハバ好都合ト

明治四十三年 二月 八日

一、再下請……

許可候ハヽ

右ニ局会ヲシテ再下請ヲ為サシムルコト並ニ其ノ方法ニ付キ何等異議無之候者折返シ御回答被成下

度此段得貴意候敬具

年　月　日

下總銀行組合幹事

明治四十三年二月八日

[illegible]

[illegible] 八十五匁

[illegible]

明治四十三年二月八日

月 日

[illegible]

九行

與	1000
濱	6
正把	7
三井	6
三	6
第一	6
女 田	五
刃 三	3
才 五	

60
50

與	100
三濱	60
正把	10
三井	60
三	60
第一	60
あ 田	50
刃 三	30
才 五	70
	500

2) 56 (28
28
14
420

560
285

75

1/6
1/6
1/6
1/6
5
3
7
50

50
560
50
50

THE YOKOHAMA SPECIE BANK, L'D.,
YOKOHAMA.

[illegible]

償借替
…行ニ
…テ再下
…行ニ対
…
ニ右ノ条項ヲ契約致度
第一条
弊行ニ於テ貴行ヨリ再下請ヲ為ス金額ハ額
面　　　ト致度事
第二条

紐育電報（　月　日發）

	英國整理 新五分利	露國 四分利 / 五分利		伯林 本邦四分利			巴里 本邦四分利 / 露國〃 / 新五分利
相場	[illegible]	[illegible] / [illegible]		[illegible]			[illegible] / [illegible] / [illegible]
摘要	[illegible]	[illegible] / [illegible]		[illegible]			[illegible] / [illegible]
前年全日相場	[illegible]	[illegible] / [illegible]		[illegible]			[illegible] / [illegible] / [illegible]
前々年全日相場							

營業局

公債	相場	摘要	前年全日相場	前々年全日相場
四分半（第一）				
〃　（第二）				
四分利				

公債相場日表

倫敦電報（5月9日發）

公債	相場	摘要	前年仝日相場	前々年仝日相場
四分利（舊）	94 3/4	1/8上	87 1/2	休
〃（新）	95 3/16	1/8上	87 1/2	
四分半（第一）	101 1/4	1/4上	98 1/8	
〃（第二）	99 1/4	3/8上	95 1/16	日
五分利	105 3/16	保合	105 13/16	
軍事	104 3/16	〃	104 3/16	
新五分利	105	〃	103	
英國整理	83 5/16	1/16上	84 1/4	
露國 四分利	93 1/2	1/4上	84	
露國 五分利	103 7/8	1/8上	97 1/4	
伯林本邦四分利	93 7/8	7/8上	88 1/2	
巴里 本邦四分利	98 90	05下	93 75	
巴里 露國 〃	94 80	保合	84 70	
巴里 新五分利	106 25	〃	104 90	

備考
（四十二年二月八日）
舊四分利最高 93 7/8
（〃）
新四分利最高 94 5/8
南滿州鐵道社債 102 1/4

營業局

紐育電報（　月　日發）

公債	相場	摘要	前年仝日相場	前々年仝日相場
四分半（第一）				
〃（第二）				
四分利				

YOKOHAMA SPECIE BANK, L'D.,
YOKOHAMA.

相改候旨無相違
所務之儀[illegible]中
以書付再三被仰
契約出雲守可
被為[illegible]之
令申出候以書状
之様可被成候 恐々謹言
二月十日 海野[illegible]
澤井[illegible]殿

THE YOKOHAMA SPECIE BANK, L'D.,
YOKOHAMA.

再下請契約

今回帝國政府ニ於テ從前ノ五分利公債借替ノ為メ新ニ発行相成候四分利公債ヲ貴行ニ於テ下請相成候処右ノ内貴行ニ於テ再下請致度旨申出候ニ付承諾相成候ニ付貴行ニ対シ左ノ条項ヲ契約致候

第一条

貴行ニ於テ貴行ヨリ再下請ヲ為ス金額ハ額面　ト致候事

第二条

営

新五分利	101	5	103
英國整理	83 3/4	上	84 1/2
露國 四分利	93 5/8	上	84
露國 五分利	103 7/8	上	97 1/2
伯林本邦四分利	93 7/8	上	88 3/8
巴里 本邦四分利	98 1/2	下	93 1/4

THE YOKOHAMA SPECIE BANK, L'D.,
YOKOHAMA.

発行ハ各下請銀行ノ応募申込以外公衆ノ応募額並総高カ一億円ニ満タサルトキハ前条再下請額ノ割合ニ応シ其不足額ヲ引受可申ハ事

第三条

発行カ再下請ヲ為ス国債ノ互ノ如ク総発行價格トスル

第四條

発行ハ契約カ本公債再下請ノ責ニ任スル銀行ヲ以テ夫再下請額ノ百分ノ一ニ相当スル再下請料ヲ支払フ定メノ時ニ於テ之ヲ交付スルヿ

第五條

再下請ヲ為シタル本公債ハ額面百円ニ付金九十

当日ニ於テハ他人ノ書印ヲ発行セラレ若シ不得止
テ其信書ヲ去ル事ニ於テハ他人ノ書印ヲ要セン
時ハ之ヲ貴行ノ為メ請求スヘシ而シテ貴行ハ
相当期間ヲ満期日ヨリ全九十五日ニ於テ引受ケ有ル
前第四条ノ期限ヲ経過シ信料ハ貴行ニ返却ニ付
ス可シ

第十六条

貴行ハ貴行ニ於テ無記名ノ信ニ於テハ付テハ他ノ信
相当ノ対手ヲ無記名ノ信ヲ取組スヘキ事
取引契約ヲ締結シ若シ之ヲ取扱フ取引上ニ於テハ貴行ノ
ノミトス

拝啓

横濱正金銀行ニ於テ四分利公債下請額ヲ他ヘ再下請セシムル場合ニ取結ブベキ規約ノ案文左記ノ通リ作成致候ニ付御参考ノ為メ供高覧候　敬具

明治四十三年二月十日

下請銀行組合幹事

THE YOKOHAMA SPECIE BANK, L'D.
YOKOHAMA.

印紙

再下請契約

今回帝國政府ニ於テ從前發行ノ五分利公債借換ノ為メ新ニ發行相成候四分利公債ヲ貴行ニ於テ下請相成候處右ノ内弊行ニ於テ再下請致度旨申出御承諾相成候ニ付貴行ニ對シ左ノ條項ヲ契約致候

第一條

弊行ニ於テ貴行ヨリ再下請ヲ為ス金額ハ額面　　ト致候事

第二條

弊行ハ各下請銀行ノ應募申込以外公衆ノ應募額面總高カ壹億円ニ滿タサルトキハ前條再下請額ノ割合ニ應シ其不足額ヲ引受可申候事

第三條

弊行カ再下請ヲ為ス國債ノ直段ハ最低發行價格ト致候事

第四條

貴行ハ弊行カ本公債再下請ノ責ニ任シタル報酬トシテ其再下請額ノ百分ノ一ニ相當スル再下請料ヲ其拂込完了ノ時ニ於テ御交附被下候事

第五條

再下請ヲ為シタル本公債ハ額面百円ニ付金九拾五円以下ニテ他ヘ賣却致サス候事若シ不得止事情ニ依リ右直段以下ニテ他ヘ賣却ヲ要スル時ハ先以テ貴行ヘ御相談致スヘシ而シテ貴行ニ於テ額面百円ニ付金九拾五円ニテ御引受被下候節ハ前第四條ノ再下請料ハ貴行ヘ返却

拝啓陳者大蔵大臣命令ニ依リ委任状ニ當地組合各行署名調印之上御返付申上候可然御取計被下度願上候

組合契約ハ調印濟廻尾ヨリ御返付申上候間法定所謂事ト御承知被下度候敬具

[illegible]三年二月十日

株式會社三十四銀行

小山健三（印）

下請銀行幹事

高橋是清殿

株式三十四銀行

可致候事

第六條

弊行ハ貴行ヨリ再下請ノ為スニ付テハ他ノ下請銀行ヘ對シ更ニ再下請致ス間敷事

以上契約ヲナシタル證據トシテ記名調印ノ上貴行ヘ差入候也

加

拝啓

大蔵大臣届書並委任状ニ貴地組合各銀行署名捺

調印ノ上御回付被成下候ニ付落手仕候又組合契約書

モ既ニ本日到達候ニ受領致候此段御報告候敬具

明治四十三年二月十二日

下請組合銀行幹事

株式会社三十四銀行

小山健三殿

明治四十三年二月十四日

會社三十四銀行

（大阪 増谷印刷）

會社 三十四銀行

[illegible]

如此御座候、
尚又再考経詢
拝顔之節可申述候
為御報早々如此
御座候 以上

六月十三日　渡田

関村
参将殿

○[illegible]

播江可被成御渡海候

[illegible]

可被仰付候

二月十三日 (花押)

羽田

周防守殿

[illegible]殿

住友銀行便箋

住友銀行小支配人

下請銀行組合幹事

髙橋是清殿

拝復益々清穆奉賀候

今回横濱正金銀行ニ於テ四分利公債下請願ヲ他ノ一再

下請セシムル場合ニ取結フヘキ規約ノ案文成リタル趣ニテ

御送付ヲ辱フシ御厚意ノ段難有奉謝候不取敢御請

旁禮迄如此ニ御座候　敬具

明治四十三年二月十四日

會社三十四銀行

上ニ累ヲ為スガ如キ惧ナカルベク且ツ確實ナル仲買ハ漸次ニ新公債ノ投資

明治三十三年二月十四日

相除陳ヶ貴地ニ植ニ而
田畠荒武外二名ヨリ相
下度之件願出候所許容
相成候様取計向上相成
有之候處事濟候何ニも
代内済候無之趣承知候
年限之契代ニ植ニ候
野村德七外二名之取扱候
弐千弐百円相下候之
證據有之又ハ時ニ蘇田
盛次郎外二名之延期中
買入ニ而 右同様一千弐百円
此下法之申出有之存候哉

買入[illegible]
御下渡之申出有之存候ニ付
此組合員ニ而行届候之結果
候ニ付御取扱相願候上
何分之御決定御座候様相
成候間御承知被下度詳細
此段御願申上候也
依頼申上候以上

明治十三年二月十四日
三十六[illegible] [illegible]健之

下總銀行組合幹事
高橋是清殿

追而本文之儀ニ付御報告
御取調之上ハ
当方之件ニ付左記之通ニ候
御内示有之候以
一 神田銀行外二行ノ契約

成候…[illegible]

御内報被下度此段御

依頼申上候敬具

明治四十三年二月十四日

三十六銀行 出健三

下谷銀行組合幹事

高橋是清殿

追而本文何分御回報迄

尚報告願ハ

為参考之件ニ左記事項

御内示相願ハ

一 神田銀行外二行ノ契約

内容

一 右組下谷ヨリ契約セシ銀行名

一 冊下谷料及金前款

一 其他必要ノ條件

以上

上ニ累ヲ為スガ如キ惧ナカルベク且ツ確實ナル仲買ハ漸次ニ新公債ヲ投資

拝啓
神田鐳蔵、七(?)…、福島浪蔵三氏再下請ノ件ニ付キ別紙甲ノ通リ小山健三氏ヨリ同意アリ別紙乙ノ通リ幹事ノ名ヲ以テ御承諾致候間御承知置被下度候 敬具

四十五年二月十六日

下請銀行団幹事
高橋是清

下請銀行団幹事
井上準之殿

拝啓

貴地現物商及定期仲買人ノ中ヨリ再下請ヲ為スノ希望申出有之候趣ニテ貴地組合員六行御協議ノ上神田鐳蔵氏外二名ニ對スル當地組合員銀行ノ取扱振御問合ノ段敬承仕候最初神田鐳蔵、小池國三、福島浪蔵ノ三氏ハ下請組合ヨリ直接ニ一千萬円丈再下請ヲ為シタシトノ希望ニ有之候處當地組合員銀行協議ノ結果右三氏ニ限リ下請組合ヨリ直接ニ再下請ヲ為サシムルトキハ他ノモノヲシテ不快ノ感ヲ懐カシメ却テ一般ノ人氣ヲ害スル慎アリ左リトテ直接ノ再下請ハ到底廣ク之ヲ許スノ餘地ナキヲ以テ三氏ノ申出ヲ其儘ニ承諾スルコトハ見合ト相成候、然シ三氏ハ真實此公債ノ成功ノ為メニ盡力セント欲スルモノニシテ之ヲシテ再下請ヲ為サシムルモ他日市價維持上ニ累ヲ為スガ如キ慎ナカルベク且ツ確實ナル仲買ハ漸次ニ新公債ヲ投資

家ノ手ニ歸セシムル爲メ有用ノ機関タルヲ認メタルヲ以テ組合中ノ一行ノ名義ヲ以テ三氏ニ再下請ヲ為サシムルコトニ决シ候右ニ関スル要目左記ノ通リニ候

一、三氏連帯ノ責任ヲ以テ五百万円丈再下請ヲ為サシムルコト

一、右再下請料ハ額面百円ニ付五拾銭トスルコト

一、右再下請ニ関シ日本興業銀行ヲ以テ三氏ニ對スル契約者トスルコト

一、三氏ヲシテ再下請ヲ為サシムベキ五百万円ハ左ノ如ク東京横濱ノ組合員銀行ノ各自下請額ノ内ヨリ割出スコト（各行下請額ノ一割ワリ割出シ合計ヲ五百萬円ニ止ムル為メ協議ノ上正金銀行ノ分丈ヲ減シタルナリ）

日本興業銀行	一、〇〇〇、〇〇〇円
正金銀行	一〇〇、〇〇〇
十五銀行	七〇〇、〇〇〇
三井銀行	六〇〇、〇〇〇
三菱銀行	六〇〇、〇〇〇
第一銀行	六〇〇、〇〇〇
安田銀行	六〇〇、〇〇〇
第三銀行	五〇〇、〇〇〇
第百銀行	三〇〇、〇〇〇
合計	五、〇〇〇、〇〇〇

一、右五百萬円ニ對スル規約第二條及第三條ノ責任ハ各行ニ於テ割出高ニ應シ分担スルコト

尚ホ下請組合ハ将来市場ト觸接スル為メ相當ノ機関ヲ要スベク三氏ノ行動其宜シキニ適フニ於テハ自然右ノ機関タルニモ至ルベキヲ以テ自重ヲ望ム旨幹事ヨリ話シタルニ三氏ハ甚ダ満足シテ熱心盡力ヲ期セルモノヽ如クニ見受申候

元来仲買商ハ自ラ永ク公債ヲ所有セントスル資本家ト見做スベキモノニハ無之候故之ヲシテ再下請ヲ為サシムル場合ニハ果ヲ将来ニ残スコトナキ様特ニ慎重ニ注意致候次第ニ御坐候
日本興業銀行ト三氏トノ契約ハ未ダ調印ニ至ラズ尤モ其内容ハ過日御送附致シ候正金銀行ノ案文ト大差ナキ見込ノ由ニ候

明治四十三年二月十五日

下請銀行組合幹事

三十四銀行頭取
小山健三殿

扣

拝復
契約書四通御調印ノ上高橋幹事宛御送附相成正ニ入手仕候不取敢御請迄謹言
得貴意候
敬具

四十三年二月十七日

深井英五

安田銀行
青木正太郎殿

四分
る本
の如
の原
が買
の利
分
外人
五屋
を送
因なる
遠から
せらる

計

600

5,000

600

再啓然者書面之趣

十五郎事過日[illegible]

[illegible]御[illegible]

上[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三月十七日　高木[illegible]

深井英吉様

四分
る本
の如
の原
が買
の利
分
外人買
五厘杯
を送り
因なる
遠から
せらる

摘	
二月	
前	
総	
計	600
	5,000
	6,000

尚以
下緒之間其[illegible]
出来申候御覧調下
為メ此方より差上申候
尤路々[illegible]
御調下の上宜しく[illegible]
願上候何分宜敷
余は拝[illegible]可申上候
二月廿日　山内[illegible]
深井[illegible]様

尚以
下緒ニ関候 紙弱
出来申候由 調候
為メ此頃申付候
落手致候 出来候
調候の上差上候
宜敷御取扱可被下候
右御頼まて 早々頓首
二月廿四日　山内容堂
深井専之丞様

總計	50	1.900	28.750	334.900	365.600.

扨拙者以参拝等
致し陸士出可と
御神田鉄蔵此方再来
候ニ付而内々へ
東多御し　兼而届
追相同所宣望いたし
人一毎下庭中出可し
本国依本意し候
禅来叙・帰上細倒等・
に存本国会席・セシメ
十億候ハニテ衛
二南ラシメ中根・十億沢

十徳被仰付ミ三ケ度御
二而ウミシ中将ニ十徳被
々書面御猶出申
上候衣ニ仕候御留置
右様上候先方ニ出可申し
御披拙者申候恐惶
如例[illegible]
二月十九日　宗健ヨリ
右様子御尋聞下
醫坊當節同苗者ニ極り
十年
定期四ツ半時之送候而四ツ半
ミ了下五日目宗[illegible]
先刻子ニ御座候
中上中十先頃ハ御[illegible]
御都合之ニ付[illegible]
ミ仍テ不[illegible]集上[illegible]

[illegible]
年頭者先ツ申上候
御機嫌克被成御座奉恐悦候
然ハ御清
二月十九日出生之
御様子多賀殿御
嘗期当御同年学者之様…
定期四ヶ月満了之後四ヶ
ニ付下五月日迄出候ニ
無利子ニ借屋待候処
中より十五円ハ返済ニ
御都合之次第付御隣家
ニ付何下御集上ケ奉
願上候つれニ此旨御知らせ
一近々御[illegible]申上候

第一回四分利公債應募申込高報告表

摘要	普通申込		代用申込		合計
	價格以上	價格	價格以上	價格	
二月十八日申込高			6.150	4.450	10,600
前日マデ累計	50	1.900	22,600	330,450	355,000
總計	50	1.900	28,750	334,900	365,600

[illegible]

[illegible]

元来中買商ハ自ラ永ク公債ヲ所有セントスル資本家ト見做スベキモ

前後の義もねんころに頼み入
別紙にて申上候付人数
庄し重ね候にてよく頼
美しく候て任せ候て
かしく

二月十九日　杉田勝

伊予様御前
澤井まて参る
伊丈

在外
四分利公債発
る本邦公債の
の如き遂に九
が原因は倫敦
の買物入込み
分利附新公債
外人買注文を発
五厘杯の手を
を送りたる形跡
因なるべし而し
違からず新四分
せらる

I. Abstract from the " First Four Per Cent. Loan Regulations."

The rate of interest on the Loan shall be four per cent. per annum.

The bonds of the Loan shall be the Imperial Japanese Government Four Per Cent. Loan Bonds, and its face-value shall be of six denominations, namely, fifty yen, one hundred yen, five hundred yen, one thous and yen, five thousand yen, and ten thousand yen.

The principal of the Loan shall , after remaining unpaid for ten years from the Fourty-third year of Meiji, be redeemed within fifty years counting from the year next ensuing.

The interest on the Loan shall be paid on 1st June

I. Abstract from the " First Four Per Cent. Loan Regulations."

The rate of interest on the Loan shall be four per cent. per annum.

The bonds of the Loan shall be the Imperial Japanese Government Four Per Cent. Loan Bonds, and its face-value shall be of six denominations, namely, fifty yen, one hundred yen, five hundred yen, one thousand yen, five thousand yen, and ten thousand yen.

The principal of the Loan shall , after remaining unpaid for ten years from the Fourty-third year of Meiji, be redeemed within fifty years counting from the year next ensuing.

The interest on the Loan shall be paid on 1st June and 1st December of each year.

The interest on the Loan for the first term shall be for full six months.

The minimum issue price of the Loan shall be ninety-five yen per face-value one hundred yen.

II. Explanatory Note on the Subscription for the Loan.

Subscription for the first Imperial Japanese Government Four Per Cent. Loan may be made either by cash payment

or by tendering, as substitutes for cash, Public Loan Bonds or Exchequer Bonds hitherto issued.

Cash Payment. Subscriber by cash payment shall apply to the banks in charge by handing in an application stating the amount of subscription, the price thereof, name and domicile of the applicants, accompanied by the guarantee money at the rate of five yen per one hundred yen.

Bond Substitution. A person who desires to substitute bonds for cash may,

1st. deposit the said bonds in the banks in charge with the same application form as in the first instance,

2nd. simply promise to pay in the bonds by handing in the application stating, besides the above items, name, amount, denominationand number of the bonds, accompanied by the same amount of guarantee money as in the case of cash payment.

3rd. substitute Registered Loan A---Loan for which no bond is issued and merely registered in National Loan Register---handing in an application stating the n me,

amount, mark, register number, of the loan and the applicants' sign in full.

In the first and third cases no guarantee money is requied.

price of Issue. Subscribers may offer at any price above ninety-five yen per one hundred yen, a fraction, however, of one yen other than ten sen or a multiple thereof is not permitted.

Acceptance. In the event of the total amount subscribed exceeds yen 100,000,000, subscription shall be accepted in the order of the price offered commencing with the highest bidder. Application by bonds or Registered Loan substitution has the privilege of being accepted prior to that by cash payment.

payment. The acceptance of application shall be informed to the subscriber on 5th March through the banks in charge, and payment is to be made as in the following proportions,

1st..5th March......Yen 5 per yen 1oo face-value.

(In this case guarantee money shall be employed.)

2nd..15th March.....yen 2o do.

3rd..1st April.....yen 2o do.

4th..2nd May.......yen 5o do.

Balance above yen 95 must be paid on 15th March.

In case bond substitution is merely promised and the bonds are not actually deposited, the bonds should be tendered to the banks in charge as soon as the acceptance is informed, for which the guarantee money shall be returned in full.

When the application is not accepted, the guarantee money shall be returned in full in both cases of application made by cash payment or by bond substitution.

Bonds That May be Substituted. Any loan bonds or Registered Loan bearing interest of 5 per cent. such as Consolidated Public Loan, War Loan, 5 % Loan or Exchequer Bonds may be substituted for cash, except those for which the period of redemption is expired.

Price of Bonds Substituted. Loan bonds or Registered Loan substituted shall be accepted at

yen 1o2 per 1oo yen face-value, when the interest on the substitutes is payable in June and December or in May and November.

yen 1oo s.75 per 1oo yen face-value, when the interest on the substitutes is payable in March and September.

Consequently, if subscription is made at yen 95 per 100 yen face-value, seven yen or five yen seventy-five sen shall respectively be delivered besides yen 100 of 4% Loan.

Term of Application. The term of application shall be from the 19th to the 25th day of February, the banks in charge may, however, receive applications even before the 19th day of February for the convenience of subscribers. Further details about application for subscription or payment will be applied to the banks in charge.

明治四拾参年貳月廿壹日

[illegible]

別紙ハ要書中ニ保存

別紙ハ要書中ニ
保存

拝啓

兼テ御打合セノ趣ニ従ヒ
別紙ノ通リ第一回四分利
公債募集再ビ請ニ
実ハ再下請者福島
高倉小池合資会社
及神田鐳蔵ヨリ契約書
提出為致候該書写
内密供御高覧ニ置候

商会小池合資会社
及神田鐳蔵より契約書
提出有之候間該書
内容供御高覧置候
敬具

二月二十一日　添田壽一

曾禰大蔵大臣閣下

在外公債逆注

四分利公債發行の反應として倫敦に於ける本邦公債の續々として騰貴し新の如き遂に九十六磅を摩するに至れるが原因は倫敦資本家及大陸方面よりの買物入込みたるにあると勿論なるも四分利附新公債應募の盛況を見て内地外人買注文を發するもの漸く多く殊に五違杯の手を經て某手筋の盛んに買を送りたる形跡あるとなせ有力なる高原因なるべし而して外債借換の前提として遠からす新四分利の額面を見るべく豫測せらる

衛……沛
……府ニ
……閣氏ノ
……申
……ニ主
ル……処ニ有之候ヲ新聞紙上ニ其意見ヲ發表セ
ラス更ニ之ヲ親展書トシテ閣下ヲ始メ朝野ノ重
ナル人々ニ洩レナク滋送申上ケタル事有之候ヘバ或ヒハ尚ホ
諸氏ノ懐中ニ存セラレ居リ候事ト奉存候大様ノ
次第ニテ今回ノ起債ガ十二分ノ好果ヲ収メンコトハ小生ノ
之ヲ熱望スル事決シテ人後ニ落チサル存意ニ有之候既

三月四日写ヲ渋沢男ヘ送ル

拜啓春氣料峭之候
益々清福奉大賀候
陳者先日上京之際種々
御厚意ヲ蒙リ鳴謝之至
奉存候且ツ縷々陳述候
律上ハ甚タ困難之義
帰後予テ目論居候事
儀ニ保之限ヤ減候處
経費ニ関シテハ一億ト為申
将ニ二億ト為スキヤハ頗研
究……候事也……之ト……付

将ニ億トスヘキヤハ頗ル研
究ノ餘地モ有之ハト存
組合員ノ總會ニ開キ
東西両者意見ヲ交換シテ
法定セラルヘキ必要有之
新公債買入資金ノ件ハ
固ヨリ必要ヲ認ムル義ニ
候得共篤ト研究請度ト
多数ノ意見モ有之候間
追而開カルヘキ組合員
會ニ於テ法定相成度
事希望ニ有之候

以帳簿ニ研究致
御教ノ意見モ是非伺
追而聞カンヤキ組合員
會ニ於テ決定相成度
事希望致居申候
右之段
匆々敬具

三月三日

三十四銀行頭取
小山健三

下請組合幹事
男爵 高橋是清殿

在外公債逆注文

四分利公債發行の反應として倫敦に於ける本邦公債の駸々として騰貴し新四分利の如き遂に九十六磅を摩するに至れり之が原因は倫敦資本家及大陸方面より多數の買物入込みたるにあると勿論なるも四分利附新公債應募の盛況を見て内地在留外人買注文を發するもの漸く多く殊に三五盛抔の手を經て某手筋の盛んに買注文を送りたる形跡あるとなせ有力なる一原因なるべし而して外債借換の前提として遠からず新四分利の額面を見るべく豫測せらる

[illegible]警[illegible]候ニ擁スルノ光栄ヲ有セス[illegible]
[illegible]国家[illegible]ニ[illegible]候際ハ今回[illegible]ニ
四分利公債募集セラレタルニ就テハ不肖ガ國民ノ
満腔ノ熱誠ヲ捧ケ之ヲ歓迎致スヘキハ固ヨリ申
迄モナク[illegible]ナラス由来此等ハ不肖ノ[illegible]熱心ニ主
[illegible]文ニ有之[illegible]新聞紙上ニ其ノ意見ヲ発表セ
[illegible]ラス更ニ之ヲ親展書トシテ閣下ヲ始メ朝野ノ重
ナル人々ニ[illegible]レナク[illegible]申上ケタル事有之候ヘバ或ヒハ尚ホ
[illegible]中ニ存セラレ[illegible]事ト[illegible]大[illegible]ノ
[illegible]ニテ今回ノ起債ガ十二分ノ好果ヲ収メンコトハ不肖ノ
之ヲ熱望スル[illegible]ニシテ人[illegible]チサル[illegible]ニ有之[illegible]

韓國ヲ朝鮮咽喉ニ擁スルノ光榮ヲ有セズ然ルニ得共益帝
清韓ノ問題ハ国家榮辱ノ繋ル事業ニ存在スル際ハ今回海軍ニ
於テ第一回公募ノ利ハ公債募集セラレタルニ就テハ不肖等國民ノ
分トシテ満腔ノ熱誠ヲ捧ケ之ヲ歓迎致スヘキハ固ヨリ申
ス迄モ無之ノミナラス由来此事ハ不肖ノ畢生来熱心ニ主
唱シ来ル処ニ有之候処今ヤ新聞紙上ニ其意見ヲ発表セ
ルニ止マラス更ニ之ヲ親展書トシテ閣下ヲ始メ朝野ノ重
ナル人々ニ漏レナク送達申上ケタル事有之候ヘバ或ヒハ尚ホ
御記憶中ニ存セラレ候ハン此事ト奉存候大捷ノ
次第ニテ今回ノ起債ガ十二分ノ好果ヲ収メンコトハ不肖ノ
之ヲ熱望スル所決シテ人後ニ落チサル存意ニ有之候就

テハ曩ニ同業者小池国三、福島浪蔵、神田鐳蔵ノ三
氏ヨリシテ再引受ノ義ヲ出願致シ候際ニ於テモ不肖亦
タ之ニ参加ノ希望切ナルモノ有之候処又右再引受ハ人
員ヲ三名ニ制限セラレ其以上ハ御許可無之候ニ付伝聞
致シ候儘止ムヲ得ス差控ヘ居タル次第ニ御座候
然ルニ大坂ノ同業者中ニモ前テ三名ノ名義ヲ以テ右
再引受ノ御許可ヲ得居候処又昨日ニ至リ更ニ二名ノ
人員増加ヲ御許可相成候由承ハリ左スレハ同一ノ事
柄ニ関スルコトトテ当地ニ於テモ或ヒハ御許可可被下ト
愚考仕リ同業者村上太三郎氏ト共ニ之ニ参加
致度ト存シ昨日直チニ渋沢男爵閣下及ヒ日本
興業銀行ヲ訪ヒ親シク謀議致候ニ種々御厚配ヲ蒙

橋 高屋製

フレ先ツ我同業者三氏ノ承諾ヲ得テ申シ出ツル方然
ルヘシトノ事ニ有之候条早速右三氏ヲ訪ヒ村上氏ト共
ニ三百万円引受ケノ事ヲ申シ述ヘ候処又三氏モ快
諾致シ呉レ候ニ付昨日最早不肖等ノ希望相達シ
候事ト安心致シ居候処今朝ニ至リ突然小
池神田ノ両氏ヨリ閣下ヲ直訪可致シ右参加ノ儀
中止ケ候モ既ニ該人員ハ三名ト決定シテ世間ニ發
表シ且ツ全公債募集モ愈々今日ヨリ開始セラレ
タル場合今更其ハ申込ハ許可ニ難キ由閣下ノ御上旨
ヲ承リシテ通知シ来リ候是レ実ニ当然ノ御仰
ニシテ大ヒニ時日ヲ遷延致シ候ハ全ク不肖等ノ懈怠
ニ有之今更繰返シテ縷々申上ケラルヘキ訳合ニハ

無之候得共以前陳ノ通リ不肖ハ此業ニ從事シ最モ熟諳シ携ヘ居ル一人ニ有之殊ニ去明治三十六年以来專ラ海外市場ニ意ヲ注キ倫敦其他各地ノ銀行家仲買業者等ニ多数ノ代理店及ヒ取引先ヲ有シテ今日迄依然公債其他ノ海外取引営業ヲ続ケ来リ居ルモノニ有之右ノ内債ヲ海外市場ニ鼓吹致候上ニ就テモ至大ノ便利ヲ有スルト同時ニ亦タ彼此ノ関係上ニ重大ノ任務ヲ帯フルモノト自覚致居候義ニモ重テ茲ニ微衷ヲ吐露シ当局ニ訴ヘ候ト存候申ス迄モナク今回ノ募債ハ我公債営業ノ便利ニシテ其結果ノ良好ナルト否トハ内外ニ於ケル信用ノ上ニモ将タ将来ニ於ケル公債市價ノ上ニモ重大ノ影響ヲ

及ホスモノニ有之候ヘハ是非結果ノ多々益々良好ナラシムルコトハ職ニ財務ノ衝ニ膺ラセラルヽ閣下ノ熱望セラルヽ所ニシテ同時ニ又民一般ノ均シク切望スル所ニ候得ハ不肖亦タ国民ノ分トシテ微衷ノ黙止スベカラサルモノ有之一意閣下営ノ驥尾ニ附シテ犬馬ノ労ヲ竭シ些少タリトモ右結果ノ上ニ補益スル所アランヲ熱望致候依テ無躾ヲモ顧ミス重テ茲ニ衷情ヲ披瀝シ高聴ヲ煩ハスニ至リタル次第ニ候殊ニ右引受金額ノ如キハ最初小池氏等三氏ニ対シテモ三百万円中何程減額セラルヽモ異議ナキ旨契約致候程ナレハ右金額ニ就テハ決シテ敢テ申シ上ル処ニ無之只々村上氏及ヒ不肖ノ両名